

# 2018 年度事業報告書

## I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開しており、2016 年度からは第 2 期中期計画に基づき、「国際感覚に優れたひとづくり」、「多文化共生の地域づくり」、「情報収集・提供による環境づくり」、「ボランティア、市民活動団体の活動促進」、「協会の基盤整備」の 5 本柱に基づき事業を実施している。

2018 年度の重点的な取組としては、ミシガン州との姉妹提携 50 周年、湖南省との友好提携 35 周年を迎えたことから、使節団（交流団）の派遣や記念事業を滋賀県と連携し取組を行った。

また、外国にルーツを持つ子どもの進学と就労に関する情報を提供する場として、昨年度に引き続き『進路フェア』を開催するとともに、子どものための日本語指導者養成講座を県教育委員会と連携して開催した。

その他、継続的な事業として、外国人住民に対する生活相談を始め多岐にわたる支援を行うとともに、行政、市民活動団体、NPO 間の連携を促進し、外国人住民が日本人住民とともに地域の一員として安心して生活できる多文化共生社会づくりに取り組んだ。

さらに、学校教育や社会教育の場における国際教育を推進するため、実践例や教材等の情報提供、講師派遣を行うなど、人材の育成に取り組んだ。

## II 事業実績

[自主] : 自主事業、[助成] : 助成事業、[補助] : 補助事業、[委託] : 委託事業

### 《 国際感覚に優れたひとづくり 》

#### 1 国際教育啓発事業

##### (1) 国際教育・開発教育の普及（オリジナル開発教育教材の普及） [自主]

###### ① オリジナル開発教材の普及

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演、教材の貸出、販売等を行った。

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| ○「ブラジルボックス」          | 貸出件数： 30 件   |
| ○「非識字体験ゲーム」          | 貸出件数： 1 件    |
|                      | 販売数： 13 セット  |
| ○「言葉がわからない」体験ゲーム震災編  | 貸出件数： 3 件    |
|                      | 販売数： 36 セット  |
| ○「わたしん家の食事からカードゲーム版」 | 貸出件数： 3 件    |
|                      | 販売件数： 15 セット |

###### ② オリジナル開発教材普及促進のための講師派遣

オリジナル開発教材を活用した授業・研修等に対して講師を派遣し、教材活用の普及および販売促進に努めた。 派遣数： 9 件

③ 国際教育教材体験フェア in 滋賀の開催

開催日：8月22日（水）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：50人

④ 国際教育教材の貸出（オリジナル教材除く）

・所蔵数：671冊／点

・貸出件数 20件、貸出点数 延べ53点（オリジナル教材を除く）

(2) 国際教育の研究 [自主]

国際教育研究会「Glocal net Shiga」による研究

研究会開催回数：10回、参加者：延べ112名（開催日：参加者）

（4/21：22名、5/27：11名、6/23：10名、7/28：14名、8/22：7名、  
10/28：10名、11/25：9名、1/27：8名、2/10：15名、3/16：6名）

(3) 国際教育の担い手の育成 [自主]

① ファシリテーター養成講座の開催（共催：JICA 関西）

国際教育ワークショップ

「地球市民を地域とともに育てよう part 17 『スマホから考える  
世界・わたし・SDGs』」

講師：佐藤 友紀さん（特別非営利活動法人開発教育協会 理事）

開催日：2月10日（日）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：33人

② 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート

ア. 国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：68件

イ. 講師派遣数：28件（オリジナル開発教材講師派遣数含む）

ウ. 講師（国際協会職員）派遣、訪問研修受入

・ 6/19	守山市立守山南中学校 2 学年担当教員 人権研修	参加者	20 人
・ 7/17	大津商業高校	参加者	279 人
・ 7/31	大津ひまわりの家	参加者	25 人
・ 8/6	大津市小中学校国際教育研究部会	参加者	10 人
・ 8/17	石山高校 2 年生人権委員研修	参加者	20 人
・ 8/24	石山学区の人権教育を考える会	参加者	14 人
・ 8/25	第 9 回関西 OV 教員合同研究会(京都)	参加者	40 人
・ 9/19	県立国際情報高校 2 年生人権研修	参加者	230 人
・ 10/6	立命館守山中学校 2 年生	参加者	159 人
・ 10/9	守山市小中国際理解教育部会授業研究会	参加者	14 人
・ 11/6	湖南省立三雲東小学校 4 年生	参加者	43 人
・ 11/15	守山高校 探究活動フィールドワーク	参加者	2 人
・ 1/9	瀬田北学区人権教育研修	参加者	21 人
・ 2/24	大阪国際交流センター ボランティア 養成講座	参加者	7 人

エ. 国際教育協働推進事業報告書発行

オ. アドバイス等

- 開発教育協会関西ブロック運営委員会」委員

(主催：(特活) 開発教育協会)

- (特活) 開発教育協会情報誌「DEAR News 189号」活動紹介執筆
- 県教育委員会主催「学校支援メニューフェア」(8月2日)
- 近江八幡市教育委員会主催「学校支援メニューフェア in 近江八幡2018」(8月8日)

### ③ 「国際教育」に関する教員研修への参画 ※再掲

滋賀県総合教育センターより依頼を受け、教職2年次研修(選択研修)対象研修「国際理解」を開催した。

[教職2年次研修(選択研修)「国際理解」]

- ・開催日：8月22日(水)
- ・会場：ピアザ淡海(大津市)
- ・参加者：6人

## 2 国際交流推進事業

### (1) 裾野を広げる国際交流～身近な異文化体験～ [自主]

#### 外国人アーティスト絵画展 in ピアザ淡海

県内に住む外国人アーティストによる絵画展をピアザ淡海ロビーで開催  
「いろ イロ 色なアート展」

- ・作家：ホセ デ ラ コリーナさん
- ・開催日：12月3日(月)～12月14日(金)
- ・作品：動物画、空想画、風景画等約20点

### (2) ミシガン州立大学連合日本センター(JCMU)の管理運営 [委託]

#### ① 施設の維持管理

JCMUの各種プログラムの受講者や教職員のニーズを把握し、快適な環境でセンターを利用できるよう施設の維持管理を適切に行った。

#### ② プログラムの運営支援

センターが開催する英語プログラムの円滑な運営を図るため、広報活動の推進や国内諸機関と連絡調整を図った。

ア. プログラムパンフレットの作成・配布

- ・県民向け英語プログラムパンフレット  
作成部数：学期用4, 000部/回  
作成配布：4回(6月:夏学期、8月:秋学期、11月:冬学期、3月:春学期)
- ・子ども英語教室パンフレットの作成・配布  
作成部数：500部/回  
作成配布：1回(3月)
- ・国内留学プログラム  
作成部数：2, 500部  
作成配布：2回(7月、11月)

イ. 英語プログラム受講者数（単位：人）

【1. 講座名（JCMUで実施）】 受講者数

県民向け英語講座（年4学期+集中コース）	498人
うちJCMU会場	450人
うち近江八幡コース	48人
こども英語教室（彦根）	119人
国内留学（2週間集中英語講座）	33人
中学・高校英語講座（水口東中学・高等学校、彦根東高校、米原高校、光泉中学・高等学校）	150人 ※34+70+38+8
滋賀県幼少中教育課（小学校外国語教諭）	30人
甲良町教育委員会（こども英語教室）	5人
第27回ミシガンカップ滋賀県高校生スピーチコンテスト	80人

【2. 講座名（講師外部派遣）】 受講者数

県立看護専門学校	33人
聖泉大学（人間学部、看護学部）	53人
東レ・カーボンマジック株式会社	15人
甲良町小学生英語教室	66人
彦根市役所（職員向け英語教室）	7人

(3) ミシガン日本センターを活用した地域との交流プログラムの実施

① 地域交流プログラム

実施日	内 容
4/8	地域の太鼓祭への参加
5/16	東レ・カーボンマジック英語研修ワークショップ
5/23	県内小学校外国語教育研修ワークショップ
6/4	彦根東高校ワークショップ
6/16	水口東中学・高校ワークショップ
6/29	週末ホームステイ(6/29～7/1)
9/10	米原高校英語研修受講生との交流会
10/12	週末ホームステイ(10/12～10/14)
11/2	滋賀県高校生スピーチコンテスト（講演、審査）
11/9	週末ホームステイ(11/9～11/11)
11/28	彦根市市議会議員研修（講演）
1/19	彦根市小学生スピーチコンテスト練習に協力
2/1	小学生との交流会（彦根市）
3/28	光泉高校スプリングキャンプ・カレッジガイダンス

② JCMU 留学生と大学生の交流のつどい

\* 台風のため中止。

開催日：9月30日（日）、場所：JCMU

参加予定者：大学生23人、JCMU留学生19人、大学生サポーター5人

予定内容：大学生とJCMU留学生が、飛び出し坊やを協働で製作し、国際交流の推進を図るとともに、文化などの多様性を学ぶ。JCMU施設紹介。

### ③ 公開講座の開催

ア. テーマ：「JCMU国際交流イベント”Game Night”」

講師：JCMU 英語プログラム教官

クリス ガースさん、サミュエル ソレンソンさん

開催日：11月7日（水）

会場：近江八幡市内会議室

参加者：25人

その他：近江八幡市国際協会と連携開催

イ. テーマ：「マルチリンガル（多言語話者）から学ぶ効果的な語学学習」

講師：関西学院大学 言語教育センター特別講師

オアナ クセンさん

開催日：2月23日（土）

会場：JCMU（彦根市）

参加者：43人

ウ. テーマ：「スコットランドの魅力」

講師：JCMU 英語プログラム教官

イアイン ロバートソンさん

開催日：3月16日（土）

会場：JCMU（彦根市）

参加者：42人

（参考）

○日本語・日本文化プログラム学生数（単位：人）

・ 短期特別プログラム（5～8月）： 33 【45】

・ 夏学期（6～7月）： 34 【44】

・ 秋学期（9～12月）： 39 【39】

・ 春学期（1～4月）： 41 【46】

計：147 【174】

※【 】書きは、前年の学生数・受講者数

### （4）姉妹友好州省への派遣〔補助〕〔自主〕

#### ① ミシガン州への友好親善使節団の派遣

派遣人員 41人

派遣期間 9月5日（水）～14日（金）（うちホームステイ3泊4日）

派遣都市 大津市8人、彦根市4人、長浜市3人、近江八幡市2人、  
草津市5人、守山市7人、栗東市2人、甲賀市3人、  
湖南市1人、米原市1人、高島市2人、日野町1人

#### ② 湖南省への県民友好交流団の派遣

派遣人員 28人

派遣期間 11月10日（土）～11月14日（水）

内 容 湖南省民宅へのホームビジット  
滋賀県湖南省友好提携35周年各種記念行事参加  
記念プロジェクト募金の贈呈 等

(5) 姉妹友好州省等交流代表団の受入等 [委託]

- ① 湖南省政府 35 周年記念協議団  
受入人員 6 人  
受入期間 5 月 9 日 (水) ~ 11 日 (金)
- ② 湖南省新材料新エネ環境保護代表団  
受入人員 23 人  
受入期間 5 月 27 日 (日) ~ 28 日 (月)
- ③ 湖南省経済交流コーディネーター  
受入人員 1 人  
受入期間 5 月 30 日 (水) ~ 6 月 2 日 (土)
- ④ 湖南省華道文化交流団  
受入人員 22 人  
受入期間 7 月 14 日 (土) ~ 18 日 (水)
- ⑤ 湖南省友好都市代表団  
受入人員 25 人  
受入期間 8 月 3 日 (金) ~ 10 日 (金)
- ⑥ 湖南省政府代表団 (副省長一行)  
受入人員 6 人  
受入期間 9 月 2 日 (日) ~ 3 日 (月)
- ⑦ 長沙環境保護職業技術学院研究員  
受入人員 1 人  
受入期間 10 月 14 日 (日) ~ 19 日 (金)
- ⑧ 台南市政府代表団  
受入人員 7 人  
受入期間 10 月 19 日 (金) ~ 23 日 (火)
- ⑨ 元フランス首相  
受入人員 2 人  
受入期間 10 月 13 日 (土)
- ⑩ 湖南省商務庁代表団  
受入人員 20 人  
受入期間 10 月 16 日 (火) ~ 18 日 (木)
- ⑪ 長沙環境保護職業技術学院研究員  
受入人員 1 人  
受入期間 10 月 23 日 (火) ~ 24 日 (水)
- ⑫ 外務省地方視察団  
受入人員 1 人  
受入期間 12 月 11 日 (火) ~ 12 日 (水)
- ⑬ 海外研究員  
受入人員 2 人  
受入期間 12 月 18 日 (火) ~ 22 日 (土)
- ⑭ 湖南省さくらサイエンスプラン交流事業研修団  
受入人員 10 人  
受入期間 1 月 23 日 (水) ~ 30 日 (水)

### 3 国際協力の促進

#### 海外技術研修員の受入 [委託]

受入人員：2人（内訳：ブラジル、中国湖南省 各1人）

受入期間：8月21日（火）～12月22日（土）（4ヶ月間）

専門技術習得：デザイン分野【（公社）びわこビジターズビューロー】  
環境【県立琵琶湖博物館】

## 《 多文化共生の地域づくり 》

### 1 外国人住民への支援

#### ① 外国人相談窓口 [補助]

県内の外国人住民等からの医療や教育など様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行った。

対応言語・相談日時：

- ポルトガル語、スペイン語（月曜日～金曜日 10:00～17:00）
- タガログ語、英語（月曜日～木曜日 10:00～17:00）

相談件数：789件（前年度 698件、対前年度比113.0%）

相談内容：医療 110件（構成比：14.0%）、教育 149（18.9%）、  
在留資格 28件（3.5%）、生活 359件（45.5%）、労働 49件  
（6.2%）、住宅 22件（2.8%）、その他 72件（9.1%）

#### ② 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

##### ア. 研修会

##### [第1回研修会]

テーマ：「日系四世の更なる受入制度について」

講師：田北 雅也さん（大阪入国管理局審査監理官）

開催日：6月27日（水）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：42人

##### [第2回研修会]（共催：滋賀県、滋賀県国際交流推進協議会）

テーマ：「改正入管法セミナー」

講師：山中 秀樹さん（大阪入国管理局総務課）

木津 良弘さん（滋賀労働局職業安定部職業対策課）

田村 太郎さん（地域国際化推進アドバイザー）

開催日：2月12日（火）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：156人

##### イ. 連絡会議

6月27日（水） 17人

#### (2) 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年4回（No.127～No.130）

発行部数：計18,000部/回

(内訳) 日：3,000部、英：2,300部、ポ：4,100部、ス：2,200部、  
ハ：1,300部、中：2,100部、台：1,100部、タ：1,900部

### (3) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

#### ① 外国にルーツを持つ児童生徒のための「進路フェア」の開催

[助成] [自主]

概要：高校進学に向けた進路ガイダンスの開催および様々な職種に就く先輩(13ブース)から児童生徒と保護者が相談会形式で直接話しを聞く機会を設けた。あわせて滋賀県教育委員会による個別進学相談ブース、滋賀労働局によるキャリア・ガイダンス・コーナーも設置した。

【12職種】建築関係、語学を使う仕事、自動車整備士、教師、ファッションデザイナー、獣医・動物看護師、ものづくりの仕事(製造・設計)、看護師、農家、サッカーコーチ、ホテル業、コンピュータ関係+先輩ブース

開催日：7月22日(日)

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが(近江八幡市)

参加者：計63人

外国にルーツを持つ児童生徒 30人

【内訳】小学生4人、中学生12人、

高校生14人(うち、公立私立高12人、外国人学校2人)

保護者21人、引率・見学者12人

#### ② 外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座 PartIX [自主]

テーマ：「『外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA』の実践と支援につながる評価」

講師：櫻井千穂さん(同志社大学日本語・日本文化教育センター 准教授)

開催日：8月20日(日)

会場：ピアザ淡海(大津市)

参加者：26人(うち、県教育委員会連携研修参加者12名)

\*滋賀県教育委員会外国人児童生徒連絡会議連携研修として実施

### (4) 災害時外国人支援

#### ① 災害時外国人サポーター登録および研修

「災害時外国人サポーター養成講座の開催」(共催：滋賀県)

内容：熊本地震や西日本豪雨の際の外国人支援事例を学び、情報集約および翻訳の実践的なワークショップを行った。

開催日：2月3日(日)

会場：ピアザ淡海(大津市)

参加者：19人

#### ② 多言語非常持出袋、防災多言語資料の貸出

貸出件数：なし

※貸出以外に、非常持出袋多言語カードを協会HPからダウンロードで使用可能。また、協会実施・協力の防災事業(県総合防災訓練への出展等)において展示・使用。

③ 消防職員対象 緊急時外国人対応に関する研修会への講師派遣等

「緊急時・災害時の外国人対応について」

内 容：教材「言葉がわからない 何が起こった（震災編）」を用いた  
ワークショップおよび消防英語・ポルトガル語および「やさしい  
日本語」による対応について

〔初任教育研修〕

開催日：7月10日（火）

会 場：滋賀県消防学校（東近江市）

講 師：滋賀県国際交流員、協会職員

参加者：新任消防職員 51人

④ 近畿地域国際化協会連絡協議会 災害時外国人支援研究会への参加

近畿の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援に関するネットワ  
ーク近畿ブロック研究会」の一員（2018年度は幹事協会）として広域連携の強  
化を図り、同研究会で開催する研修会や訓練への参加により、災害時の広域  
連携マニュアルの実効性を検証し、予防対策と発災後対応（応急対策）の両  
面から支援体制づくりを行った。

【研究会】4回 （6/26、9/20、11/29、3/7）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

研究課題：大阪北部地震や台風時の各協会の対応事例、情報共有方法等

【共催研修への参加】 ※協会職員および災害サポーターが参加

ア. 「kokoka 避難所宿泊訓練」

実施団体：京都市国際交流協会

開催日：2018年6月16日（土）～17日（日）

会 場：kokoka 京都市国際交流会館（京都市）

内容等：協会職員およびボランティア等による多言語支援センター設置  
訓練と、外国人住民向けの防災講座およびワークショップ

イ. 「災害時外国人支援対応マニュアルの検証」

実施団体：兵庫県国際交流協会

日 時：2018年12月20日（木）

場 所：国際健康開発センタービル（神戸市）

内 容 等：災害対応マニュアルと課題の検証についての講義、意見交換

ウ. 「大阪府災害時多言語支援センター運営訓練」

実施団体：大阪府国際交流財団

開催日：2019年1月11日（金）

会 場：マイドームおおさか（大阪市）

内容等：センター実地訓練としての外国人電話相談および多言語情報発  
信の各訓練、講義

エ. 「災害時被災外国人（在住・訪日）対策図上訓練」

実施団体：大阪国際交流センター

開催日：2019年2月1日（金）

会 場：大阪国際交流センター（大阪市）

内容等：外国人のための防災研修および図上訓練形式で連携・協働体制  
や外国人対応についての課題検証

⑤ 助言等

- 甲賀市における災害時多言語支援体制検討会議メンバー  
※甲賀市・市協会間の災害時外国人支援協定締結にもとづく活動。
- 滋賀県災害時ボランティアネットワーク会議／要配慮者支援ネットワーク（事務局：滋賀県社会福祉協議会）委員
- 総務省「災害時外国人支援情報コーディネーターを養成するための研修」参加

(6) その他の外国人支援 [自主]

① 日本語教育の支援

ア. 日本語指導者養成講座（共催：びわこ日本語ネットワーク）

講師：財部 仁子さん（神戸 YMCA 学院専門学校日本語学科専任講師）

開催日： 9月2日（日）（午前・午後＝第1回・第2回）

9月9日（日）（午前・午後＝第3回・第4回）

9月16日（日）（午前・午後＝第5回・第6回）

会場：第1回～第2回 能登川コミュニティセンター（東近江市）

第3回・第6回 やわらぎホール（東近江市）

参加者：57人／回

イ. びわこ日本語ネットワーク「第15回外国人による日本語スピーチ大会」への開催協力

開催日：2月17日（日）

会場：栗東芸術文化会館さきら（栗東市）

来場者数：約300人

発表者：15人

■滋賀県国際協会会長賞：「郷に入れば郷に従え」

スルスティア ウィナンティさん（インドネシア）

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室や外国人相談窓口情報の提供を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

日本語指導教材蔵書数：340冊 貸出件数：3件、延べ5冊

ブラジル教科書蔵書数：51冊、貸出件数：1件、延べ2冊

④ 多言語情報の提供等

外国語が通じる病院の情報提供、防災情報、多文化共生学校づくり支援サイト、多言語子育て情報サイト、生活Q&A等で随時情報を提供した。

(7) 外国籍学生等への奨学金の支給 [自主]

びわこ奨学金支給事業（基金：3億円）

・留学生 支給額：月額20,000円 支給人員：10人（申請17人）

・外国籍大学生 支給額：月額20,000円 支給人員：3人（申請8人）

【びわこ奨学金授与式】

開催日：7月8日（日）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：奨学生10人および引率者4人

## 2. 多文化共生によるまちづくり

### (1) 防災から広げる共生のまちづくり [自主]

#### ① 滋賀県総合防災訓練出展

内 容：「言葉がわからない」ミニ体験クイズ、多言語防災資料展示・配布、東日本大震災等における外国人支援活動紹介パネル等

開催日：9月2日（日）

会 場：野洲川親水公園（湖南市）

協 力：災害時外国人サポーター・S I A ボランティア・びわこ奨学生 5人

参加者：約1,000人

#### ② 長浜市「防災すごろくゲーム」

内 容：運営スタッフおよびアドバイザーとしての参加

開催日：1月12日（土）

会 場：長浜市多文化共生・国際文化交流ハウス GEO-ジオー（長浜市）

参加者：外国人住民、市民ボランティア等

※長浜市・長浜市民国際交流協会実施事業に協力。

#### ③ 甲賀市災害時多言語情報センター設置・運営訓練

内 容：運営委員および訓練要員としての参加

開催日：3月10日（日）

会 場：甲賀市役所別館（甲賀市）

参加者：外国人市民ボランティア、甲賀市役所・国際交流協会関係者、甲賀市社協等 27人

### (2) 多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 [自主]

#### ① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応：100件

#### ② アドバイス等

- 「帰国・外国人児童生徒教育指導連絡協議会」資料提供(5/29)
- 長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議委員
- 滋賀県介護職員人材育成事業外国人（湖南地域）外国人介護職員養成研修実施協力
- 滋賀レイクスターズ ブラジル人学生無料招待事業への協力
- 第70回全国人権・同和教育研究大会 滋賀県実行委員会  
構成団体 大会運営協力等
- 滋賀県企画調整課主催「未来の滋賀とつながる！ワーキング会議」（テーマ：多文化共生）参加協力

#### ③ 講師等（国際協会職員）派遣等

- |         |  |     |     |
|---------|--|-----|-----|
| ・ 7/25  | （一財）自治体国際化協会<br>多文化共生事業第1回ローカライズ研修会(於：京都市) | 受講者 | 15人 |
| ・ 10/15 | 立命館大学情報理工学部訪問受入れ（村上陽平准教授）                  | 訪問者 | 10人 |
| ・ 10/24 | 長浜市人権施策推進課 長浜市じんけん連続講座                     | 受講者 | 50人 |
| ・ 10/26 | （公財）滋賀県産業支援プラザ 職場研修                        | 受講者 | 50人 |
| ・ 12/13 | 京都大学「国際移動研究会」訪問 受入れ                        | 訪問者 | 2人  |

・ 1/23	大津市立日吉中学校第3学年人権学習 「生き方講話」（担当：3年7組）	受講者	31人
・ 2/7	平成30年度商工観光労働部・労働委員会事務局 合 同部門研修（人権研修）	受講者	35人
・ 3/6	滋賀県入管法改正に係る庁内対応検討チーム多文化共 生部会第1回会議（多文化共生に関する講義）	受講者	24人

## 《 情報収集・提供による環境づくり 》

### 1 情報収集・提供事業

#### (1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年3回

109号（7月）、110号（11月）、111号（3月）

発行部数：2,500部/回

#### (2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 [自主]

発行回数：毎月1回

送信件数：407件/回

#### (3) インターネット・ホームページによる情報提供 [自主]

① 協会ホームページアクセス数：90,685アクセス（前年度83,409）  
月平均：7,557アクセス（前年度6,950）

② S I A Facebook リーチ数：90,379リーチ（前年度68,479）  
（参考：記事投稿件数 511件）（前年度 398）

#### (4) 国際情報サロンによる情報提供 [自主]

##### ① サロン展示事業および啓発展示

「滋賀県国際協会の世界」、「国際教育～楽しく学べる教材特集」、  
「SDGsについて」

##### ② 交流スペースの貸出 37回（日本語教室等）

##### ③ 国際情報サロン図書等の貸出（日本語教材、国際教育教材を除く）

サロン図書の貸出 ・貸出：4件、23冊

国旗の貸出（普通旗・卓上旗）

・貸出：8件、延べ42点（7か国・地域）

#### (5) 関連機関・団体との連携・協働による事業実施 ※再掲

- ・ 県教育委員会、市教育委員会等（進路フェアの実施）
- ・ 県教育委員会（外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座）
- ・ 県商工観光労働部観光交流局（改正入管法セミナーの開催）
- ・ 滋賀県進路保障推進協議会等（進路フェアの実施）
- ・ 滋賀県医療福祉推進課（外国人介護職員養成事業の実施協力等）
- ・ JICA 関西（開発教育・国際教育研修の実施）

## (6) 海外渡航の支援 [自主]

### ① 渡航相談業務 5件

### ② 写真撮影 (パスポート用写真の撮影)

撮影日および時間：月曜日～金曜日 9:00～16:30

撮影場所：パスポートセンター (ピアザ淡海 1F) 横

利用者数：17,807人 (前年度 16,125人)

## 《 ボランティア、市民活動団体の活動促進 》

### 1 ボランティアの活動促進

#### (1) S I Aボランティアの登録・紹介 (3月31日現在)

国際交流支援 登録：79人、紹介：3件、延べ7人

ホームステイ・ホームビジット 登録：64人、紹介：なし

通訳・翻訳 登録：123人、紹介：10件、延べ14人

登録者数合計 延べ 266人 (171人)

・ボランティア オリエンテーション：随時

・関西国際交流ボランティアネットワーク会議 (KIV-NET) 運営委員

#### (2) 災害時外国人サポーター登録制度 (3月31日現在)

登録者数：111人

概要：災害時外国人サポーター養成講座の受講。

近畿広域で開催される研修会・訓練について案内、6月に京都市で開催された避難所宿泊訓練に参加。

#### (3) ボランティア情報の発信

メーリングリストによる情報提供：69件

ボランティア相談対応：20件

### 2 市民活動団体等活動促進事業

#### (1) 滋賀県国際交流推進協議会の運営支援 [自主]

参加団体：69団体 (地域協会部会 16団体、団体部会 53団体)

##### ① 全体会議・部会会議

開催日：7月4日 (水)

会場：ピアザ淡海 (大津市)

参加者：25人 (全体会議)、25人 (地域協会部会・団体部会会議)

##### ② 地域協会部会研修会

概要：滋賀県高等技術専門校の概要説明、施設見学

(特活) 米原多文化共生協会の活動や運営の意見交換、交流会

開催日：12月18日 (火)

会場：滋賀県高等技術専門校 (米原市)

参加者：26人

##### ③ 団体部会研修会

概要：立命館大学びわこ・くさつキャンパスより留学生の現状や大学の

取り組み等についての発表、質疑応答、施設見学

開催日：1月16日（水）

会場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス コアステーション

参加者：25人

#### ④ 全体研修会

ア. 講義「『やさしい日本語』の役立て方」

講師 土井 佳彦さん

イ. 分科会

ワークショップ1「日常での活用について」

ファシリテーター 森 雄二郎さん

ワークショップ2「災害時におけるコミュニケーションツールについて」

ファシリテーター 土井 佳彦さん

開催日：7月4日（水）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：42人（全体研修会）

#### ⑤ 運営委員会

開催回数：2回

開催日：4月17日（火）、3月14日（木）

#### (2) 国際交流推進セミナーの開催 [自主] ※再掲

内容：改正入管法セミナー（共催：滋賀県、(公財)滋賀県国際協会）

「新たな外国人材の受入れについて」

「外国人労働者の動向および労働局の施策等について」

「外国人と共に暮らす地域づくりについて」

講師：大阪入国管理局総務課、滋賀労働局職業安定部職業対策課、  
地域国際化推進アドバイザー 田村 太郎さん

開催日：2月12日（火）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：156人

#### (3) 市民活動団体等への支援 [自主]

- ・その他、後援事業数 12件、協力事業数 1件
- ・その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。
  - ◇ 8月20日（月）～8月29日（水）の期間、同志社女子大学表象文化学部  
日本語日本文学科よりインターン生1人を受入れ。
  - ◇ 11月7日（水）、龍谷大学社会学部コミュニティーマネジメント学科  
（ゼミナール型科目「入門実習」）よりインターン生1人を受入れ。

#### (4) JICA国際協力推進員の活動

独立行政法人国際協力機構関西国際センターから駐在（1人）

国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に活動した。

### 3 その他

#### 近畿地域国際化協会連絡協議会の運営

今年度は当連絡協議会の幹事協会として、近畿における地域国際化協会のネットワーク強化を図った。

#### (1) 総会の開催

開催日：7月26日(木)

会場：ピアザ淡海(大津市)

#### (2) 災害時外国人支援ネットワーク研究会の開催 ※再掲

開催日：6月26日(木)、9月20日(木)、11月29日(木)、3月7日(木)

会場：ピアザ淡海(大津市)

### 《 協会の基盤整備 》

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講座や子ども向けイベント、ワークショップ開催時など各種機会において入会の案内を行った。

あわせて、来所者や国際情報サロン利用者に対して協会実施の事業や趣旨、意義について説明をすることで、会員確保に向けての啓発を行った。

\* 税額控除証明書を2017年11月29日に再取得。

(個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認定)

○寄附金：9件、1,132,793円

○会員数

個人会員： 294人 (前年度末：287人)

団体会員： 94団体 (前年度末：98団体)

計 388会員 (前年度末：385会員)